

投稿規定

- 一、投稿枚数は、「立教大学日本文学」のフォーマットに照らして14頁（29字×50行×14頁）以内とします。
- 二、原稿は縦書きを原則とします。横書きによる掲載を希望する場合は、投稿前に必ずご相談ください。
- 三、原稿は完全清書原稿とし、注・引用その他の形式は、既刊のものに準拠してください。場合によっては体裁の統一を図らせていただきます。
- 四、原稿は手書き原稿・プリンター印字原稿を問わず、二部提出してください。
- 五、プリンター印字原稿の場合は、原稿二部と併せて電子媒体（CD・ROM、USBメモリー等）でデータを提出してください（電子媒体の返却はいたしません）。メールによる提出（rikkyonhonbun.gakuhensyu@gmail.com宛）も可能です。データをメールで提出する場合は、その旨、原稿郵送の際に編集担当者までお伝えください。
- 六、査読担当委員は、外部の有識者を含め、会長がこれを委嘱します。
- 七、執筆者校正は論文・書評について初校のみ。ただし加筆訂正は最小限度にお願いします。
- 八、論文執筆者には掲載誌三部・抜刷四〇部を進呈します。
- 九、「立教大学日本文学」は雑誌として刊行すると同時に立教大学のリポジトリにも登録され、掲載原稿の全文をPDF化したうえでオンライン公開します。投稿された原稿については、その旨、ご承諾いただいたものとなります。ただし、論文内に用いられた写真、図版などについては、その部分に限って、原則として電子化の対象から外すこととします。
- 十、原稿のメ切り日は、五月の連休明け最初の月曜日と十一月の秋学期休み明け最初の月曜日です。

編集後記

△二〇一五年三月をもって藤井淑禎教授がご定年を迎えられました。これまでの慣例では「立教大学日本文学」をご定年記念号として発行してきましたが、ご本人からそのような特輯を辞退したい旨の連絡をいただいたため、本号は通常号の体裁となっております。

△藤井淑禎教授は、一九九〇年四月に赴任されて以来、二五年間にわたって多くの学部生、大学院生をご指導くださいました。江戸川乱歩記念大衆文化研究センターを発足させ、本学における大衆文化・文化研究を牽引されました。今号には、藤井淑禎教授の指導を受けた研究者、大学院生のみなさんが論文を寄せてくれましたが、その学恩は論文のいたるところに活かされていると思います。

△この四月から赴任された金子明雄教授には、立教大学日本文学会での特別発表をお願いし、その内容を論文としてご寄稿いただきました。通常の投稿論文とは区別し、論文を一括掲載していることをご了解ください。

△立教大学日本文学専修（旧・日本文学科）

は二〇一六年に創設六〇周年を迎えます。それを記念して、通常の日本文学会とは別に、春と秋に二度の国際シンポジウムを計画しています。詳細は後日、HPに掲載いたしますので、ぜひとも多くの方々に参加いただきたいと思います。

*本会への入会申込・会費など、電話によるお問い合わせは、下記のサポートセンターまで。

会費 一年 四〇〇〇円

立教大学日本文学会
振替 〇〇一四〇一八一二二三三三

立教大学日本文学 第一一五号

二〇一六年一月二十五日 印刷

二〇一六年一月三十日 発行

編集発行人 立教大学日本文学会

石川 巧

〒171-8501 東京都豊島区西池袋三―三三―一

サポートセンター

電話（〇三三）三九八五―二五〇五

印刷 サポートセンター 上毛印刷株式会社